

Brand Logo Mark



庄野電気の頭文字“S”を
モチーフにしています



“歴史”と“挑戦”のあいだに
電気・パワーがある



つねにお客様と近くにある
信頼関係を表しています



?

このブックは、庄野電気のブランド
思想をまとめたものです。私たちは
この指針をベースに、社員とその家族、そし
てお客様の幸せをかたちにしていきます。

Brand Book

庄野電気 VISION

技 術 と 情 熱 。

BE YOUR —
LIGHTS.

何気ない毎日も、便利になっていく時間も。

いつもよろこびと笑顔にあふれるような、

そんな、あたりまえの日常。

京阪神エリアの約1900万人以上の

暮らしを支えることが

私たちの仕事です。

ご家庭から、企業、行政に至るまで。

さまざまなお困りごとを解決し、

やりたい想いにそって、それをかたちにする。

安心して過ごせるインフラを支えていくことで、

人の暮らしや、地域、企業の価値が

いつまでも続くために。

これまでのありがたい信用と、

確かな技術の先へ。

私たち庄野電気は、皆様にとっての

頼られる光でありたいと願っています。

庄野電気 MISSION

身近な暮らしから、地域や企業まで。

お客様のお困りごとに
正面から向き合いながら、
社員とその家族の
幸せもかたちにしていく。

庄野電気が最も大切にしているのは、人、暮らし、そして地域や企業のチカラになること。それは、お客様にとっても、社員やその家族自身に対しても同じです。

先代から脈々と受け継いできたよろず屋の気持ちを大切に。暮らしになくてはならないインフラを支え、電気工事の領域に収まることなく地域や企業の課題に至るまで、幅広く皆様と向き合います。

「技術の庄野」と呼ばれてきた創業以来から磨き続ける技術力と、迅速で確実、信頼いただけるような仕事の姿勢を貫いていく。時代とともに多様化する暮らしや技術にあわせて、これまでに寄せられてきた多くの「ありがとう」の声と信用を積み重ねながら、日々進化していきます。

庄野電気は人と技術で、社員とその家族、そしてお客様の幸せをかたちにしていきます。

庄野電気 VALUE

SHONO SPIRITS

庄野電気は、創業以来変わらない

3つの精神を胸に抱き、

お客様に求められる以上の仕事を発揮します。

「信用」に応えるチカラ

物事の大小に関わらず、様々なお困りごとに対して積極的に立ち向かうのが庄野電気らしさ。常に「なんとかしたい」という想いをもち、人と向き合い、仕事を最後まできちんとやり遂げていく。「信用」に応えていくためのチカラがあります。

「確実」を発揮するチカラ

庄野電気は、お客様のお困りごとにしっかりと向き合うために、柔軟な発想で、高い技術水準、24時間体制による迅速な対応を可能にします。創業時から受け継ぐ長年の技術と、常に磨き続ける新しい技術力で、お客様にとっての最善を提案する。「確実」を発揮するチカラがあります。

「歴史と挑戦」を重ねるチカラ

庄野電気の先代から積み重ねられてきた技術、お困りごとと向き合う精神。それらが、いまも続く信頼だと考えています。大事な芯を変えることなく、時代とともに変化する課題やニーズに応じて、庄野電気も進化していく。「歴史と挑戦」を重ねるチカラがあります。

1 整理整頓、 美化に心がける。

庄野電気は、人と向き合う仕事です。お互いに気持ちよく、スムーズに仕事を進めるためにも、常にデスク周りや倉庫、社用車などの整理整頓を。また清潔さや身だしなみを心がけましょう。

2 相手の立場、 気持ちに立つ。

悩みや課題を解決するには、相手の立場で、同じ気持ちで考えなければなりません。常に相手への感謝の気持ちを忘れずに、相手に伝わる行動や言動を意識しましょう。それらが、誠実な対応となり、信頼を得ることにつながります。

3 自主的に動く、 責任感を持つ。

現場での判断の速さが、対応への迅速なスピード感を生み出します。自分が率先して動き、そして困った時は仲間に相談をする。お客様にとって最適な行動を取ること。それがプロです。

4 チームワークを、 積極的に。

個人ではなく庄野電気として、お客様の期待や目標を達成していく。現状の報告や協力体制の依頼など、積極的に仲間とコミュニケーションを取ることで、ワンチームを心がけましょう。

5 迅速という、 スピードの追求。

庄野電気の仕事には、迅速なスピードが求められます。相手にとっても、自分にとっても“時間”は、限られた資源です。大事に扱う気持ちで、迅速、確実、丁寧に業務に取り組みましょう。

6 常に成長するという、 意思を大事に。

私たち、お客様、社会のニーズや課題は常に変化していきます。そのため、常に目の前のことだけではなく、先の未来、物事を冷静に見るなど広い視野を育むことも大切です。磨かれた技術、新たな知識、知見の共有などを通じて、お互いに学び成長していきましょう。
